

令和6年度「南城市幼小連携事業」活動記録簿

幼小連携事業：公開保育＆合同研修会 大里北地区	
実施日時	令和6年8月23日(金)
実施場所	公開保育園：むぎの子共同保育園 合同研修：大里北小学校図書室
参加者	幼児教育施設 17名 小学校教諭 10名 中学校教諭 10名 行政 8名 合計 45名 (小中の初任者研修教諭含む)

1 内容

① 保育参観 9:00～9:50 むぎの子共同保育園公開保育 0歳児～5歳児

公開保育の様子 身近な自然を保育に取り入れ探索活動を展開する。



0・1歳児木陰で水遊び



月桃の種等で遊ぶ



種転がし：試行錯誤する



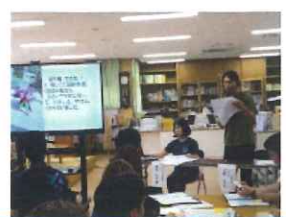
水を使って流れる様子に夢中

保育園と地域の自然を一体的に保育に取り入れ、散歩で見つけたグワバの実を食べたり、バッタ等を見つけ捕まえたりしている。月桃の種や自然物を活用して試行錯誤して遊ぶ姿が見られた。

② 合同研修会 10:10～12:00 大里北小学校図書室にて



園長挨拶：宮平園長



保育の流れ説明：上間保育士



幼小中の先生方が保育について話し合う



2 指導助言 琉球大学教育学部講師：宮城利佳子氏

- ・園内外の自然に関わりながら子どもたちが主体的に遊ぶ姿が見られて良かった。
- ・5歳児の昆虫工場も子どもたちと相談しながら実現させると協働性の育ちに繋がる。子どもが調べたい時に手に取ることができる図鑑が身近にあると良い。



指導助言：宮城利佳子氏

3 実践報告：大里北小学校一年担任：金城愛理教諭「遊び」を軸にした単元構想

- ・国語、算数、生活科等の教科を横断した事例「大きなかぶ」「いかだ作り」の実践から分かったこと。子ども主体の授業でわくわくして取組み休み時間や昼休み時間等も「やりたい！」と自ら取組み時数不足はなかった。
- ・学習指導要領に位置づけ、「めあて」も子ども自ら考えることができた。



実践報告：金城愛理教諭

4 成果（参加者の感想より）

- ・保育士：小中の実践を聞く事で園での学びのつながりが分かった。
- ・小学校教諭：遊びから学びにつなげる工夫の重要性を感じた。
- ・中学校教諭：子どもに委ねる授業、生徒が楽しめる授業をつくって行きたい。

今日、学んだことを中学校でも生かして行きたい。